



### もちつき大会

10月29日(土)子どもたちが、1年間心待ちにしていた「もちつき大会」の日がやってきました。

同じ日に、マラソン大会もあり、スポーツで体を動かし、お腹がすいたところに美味しい美味しいもちをいただくという子どもたちにとっては、大変嬉しい一日です。

使うもち米は、4年生と5年生が丹精込めて育て、9月に収穫したものです。

前日には、5年生が道具やもち米を洗って準備をしました。5年生の子どもたちが、みんなてきぱきとよく働きました。さすが、頼りになる5年生です。

この「もちつき大会」は、お父さんやお母さんが子どものころから続いている伝統ある行事だそうです。

朝早くから、女性会や父親委員・PTA 役員等地域の方々が大勢お手伝いに来てくださいました。もちろん、保護者の方も大勢参加し、お手伝いしてくださいました。

1・2年生と5・6年生がもちをつき、3・4年生がもちを丸め、みんなが自分の役割をしっかりと果たそうと頑張っていました。



つきたてのもちを焼いてもらい、「しょうゆ」「きな粉」「ぜんざい」と好きな味をつけていただきました。一人3個ずつとほっぺたが落ちるような美味しいおもちをいただきました。もう、お腹いっぱい、どの子も満足、満足!!!

「もみおくりの式」では、5年生が3・4年生へ「もみ」を送り、「来年の田植えをよろしく!」とお願いました。みごとな「もみ」と「田んぼ」のバトンタッチでした。

そのバトンタッチされた田に、11月14日(月)3年生と4年生が校庭の落ち葉を拾い集め、撒いてきました。落ち葉が、子どもたちの心のこもった自然の肥料となり、来年はきっと今年以上においしいもち米が収穫できることと願っています。

このような生きた学習ができるのも、保護者や地域の方々のお力添えのおかげです。

これからも、保護者や地域の方々に支えられてきた湯来南小学校の「もちつき大会」を、より活気のあるものにし、伝統として守り発展させていきたいと思ひます。

